

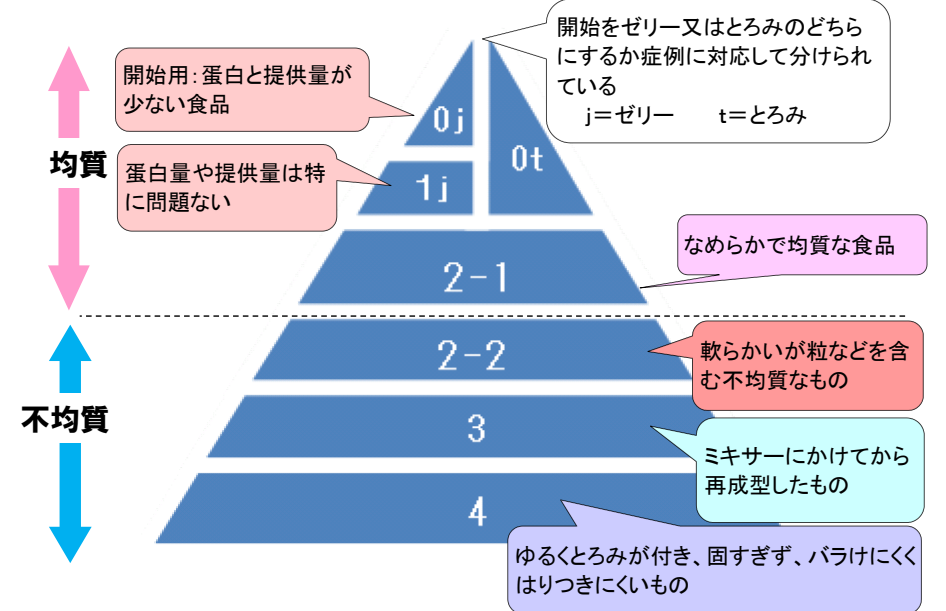
# 各食事の嚥下段階レベル（摂食嚥下訓練編）

学会分類2013		0-t	0-j	1-j	2-1	2-2
		レベル0			レベル1	レベル2
名称	流動食 (経口摂取の場合)	嚥下訓練 A-1	嚥下訓練 A-2	嚥下訓練 A-3	嚥下訓練 B	嚥下訓練 C
特徴	各成分については『経管栄養組成表』を参照のこと	【テスト食】	【訓練食】	【移行確認食】	【移行準備食】	【ソフト移行食】
提供量		30mL～	40～80g	味噌汁75g、粥165g	ハーフ量+ゼリーのみ全量	ハーフ量+ゼリーのみ全量
栄養量		0～50Kcal/1品	50～150Kcal/1品	10～50Kcal/1品	160Kcal/1食	230Kcal/1食
食事内容・その他	通常の経管栄養剤 ※香りは良い	■とろみ水 量：指示量 	■エンジョイカップゼリー (カップ：増粘系) 味：6種類 量：70g 	■重湯ゼリー 量：165g ※指示量による 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食（基本：ソフト粥）</li> <li>・味噌汁（具なし）</li> <li>・ねり梅、たいみそ等</li> <li>・デザート（エンジョイゼリー）〈4品〉</li> </ul> ※麺の提供なし  嚥下訓練食B  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食（基本：ソフト粥）</li> <li>・味噌汁（具なし）</li> <li>・主菜</li> <li>・副菜</li> <li>・デザート（エンジョイゼリー）〈5品〉</li> </ul> ※麺の提供なし  嚥下訓練食C  
	経口に配慮した栄養剤 ※飲みやすさに工夫あり	■水分ゼリー（糖質のみ含有） 味：フルーツ5種類 量：50・75・100・150mL 	■エンジョイゼリー (手作り：ゼラチン系) 味：10種類 量：40～60g 	■味噌汁ゼリー 量：75g ※指示量による 		
	絶食開始時、水分補給、 ビタミン等補給など	■V F検査食（バリウムゼリー） 内容：とろみまたはゼリー 	■ソフトアガロリー (カップ：増粘系) 味：7種類 量：83g 	■その他ゼリー各種 40g程度 ※離水はあるが軟らかく 食べやすい。		
主食形態					重湯（上澄み液） 3分粥（粥3割+重湯7割） 5分粥（粥5割+重湯5割） 7分粥（粥7割+重湯3割） 全粥（10割）	
患者請求（食事療養費）			※請求なし		※一般食として請求する	

# 各食事の嚥下段階レベル（食形態選択編）

分類	3	4	5
名称	レベル3 <b>ソフト ミキサー食</b> 【嚥下対応食】	レベル4 <b>極キザミ キザミ食</b> 【咀嚼対応食】	レベル5 <b>普通形態食</b> 【一般的形態】
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通常のゼリー、ムース、プリン、ヨーグルト（多少の離水あり）</li> <li>●付着は多少あり</li> <li>●ざらつきは多少あり</li> <li>●ミキサー食は薄くトロミつき</li> <li>●嚥下C+副食が2品増え、朝に飲み物がつく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主に咀嚼力低下に配慮</li> <li>●極キザミは薄くトロミつき</li> <li>●麺は10cmカットにて提供</li> <li>●果物については固さに応じてすりおろし又はゼリーに変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●軟菜食となっている</li> <li>●通常形態であるがスプーンにのる大きさが基本。</li> <li>●食品の固さに応じて大きさを調整（指示のある方のみ）</li> </ul>
提供量	※医師の指示量		
栄養量	※医師の指示量		
食事内容・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食（選択）</li> <li>・味噌汁（具なし）</li> <li>・主菜</li> <li>・副菜</li> <li>・副副菜又はデザート</li> <li>・朝の飲み物あり（5~6品）</li> </ul> ※麺の提供なし  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食（選択）</li> <li>・味噌汁（具キザミ）</li> <li>・主菜</li> <li>・副菜</li> <li>・副副菜又はデザート</li> <li>・朝の飲み物あり（5~6品）</li> </ul> ※極キザミ：麺の提供なし ※キザミ：麺 1cm、5cm、10cmカットにて提供  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食（選択）</li> <li>・味噌汁</li> <li>・主菜</li> <li>・副菜</li> <li>・副副菜又はデザート</li> <li>・朝の飲み物あり（5~6品）</li> </ul> ※一口大写真（肉を一口大）  
主食	重湯（上澄み液） 3分粥（粥3割+重湯7割） 5分粥（粥5割+重湯5割） 7分粥（粥7割+重湯3割） 全粥 米飯	※希望に応じて軟飯（水分5割増し：全粥と米飯の中間）	
請求	※一般食又は治療食として請求する		

## 学会分類2013と当院食形態分類比較表



学会分類2013			当院食形態分類		嚥下食 ピラミット 分類	市販嚥下食品分類	
						えん下困難 者用食品	UDF ※注）段階 が他とは逆
0	j	嚥下訓練 食品	嚥下訓練A-1	レベル0	L0	許可基準 I	
	t				(とろみ水)		
1	j	嚥下調整食 1	嚥下訓練A-2	レベル0	L1・L2	許可基準 II	区分4 (ゼリー状)
			嚥下訓練A-3				
2	1	嚥下調整食 2	嚥下訓練B	レベル1	L3	許可基準 II・III	区分4
	2		嚥下訓練C				レベル2
3		嚥下調整食 3	ソフト・ミキサー食	レベル3	L4		区分3
4		嚥下調整食 4	極きざみ・きざみ食	レベル4	L4		区分1・2
			普通形態食	レベル5			

Vertical line on the left side of the page.